

保育らくあか



福岡市長 高島 宗一郎 氏 書

編集・発行 一般社団法人福岡市保育協会 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ6F 発行者 篠原敬一 編集者 高山英樹



「ちゃんと撮れた?」



「ボールがやって来る」



「ボール大好き」



「楽しいクッキング」



「いい気持ち」

平成29年度 **1号**  vol.115

- 理事長、副理事長あいさつ2
- 保育協会理事会組織とメンバー3
- 保育士会組織とメンバー3
- 新卒採用職員紹介 4~5
- 新旧青年部部长インタビュー6
- 叙勲表彰6
- 新園紹介7
- リレー回想8

【写真を提供していただいた保育園】
(福岡市保育協会フォトクラブ)
豊庄、大濠、城浜、つぼみ、大手門保育園

「子ども・子育て新制度の問題点」はユーチューブ(YouTube)でご覧いただけます。
※PCだけでなくi-phone などのスマートフォンからも見る事ができます。

「新制度」の詳しい内容については

[ほいくせいど](#) [検索](#)

を、クリック!



理事長のつとめ

野方保育園 園長
篠原 敬一

福岡市においては、待機児童解消のため認可保育所の定員が、平成28年度に1,800人、さらに平成29年度には、2,000人増員される予定ですので、今年度新たに300人の保育士が必要になると言われています。



したがって、福岡市の保育園の短期的課題としては、待機児童解消のために、保育士の処遇改善や労働環境整備を推進して、既存の保育士の離職率を減らすとともに保育士養成校の学生の保育園への就職率を伸ばし、さらに潜在保育士の掘り起こしをしなければなりません。

一方、平成28年(2016年)の出生数は、98万人で、明治32年(1899年)に近代的な人口統計が開始されて以来、初めて100万人を切りました。また、最高の出生数だった昭和24年(1949年)の269万人に比べると、ほぼ3分の1に減少したことになります。まさに、全国的には、少子化の波が押しよせています。福岡市の保育園も長期的課題として、いずれ訪れる入所児童の減少に備えなければなりません。

これらの課題に対処するためには、児童福祉法第24条1項に基づく保育所運営の委託者である福岡市との友好関係をさらに強化しなければなりません。まずは、誰もが安心してひとしく保育を受けられる仕組みとして、「保育の質」の向上に要する新たな「福岡市式」を福岡市と協

力して構築したいと思っています。保育協会の会員の皆様のご協力を、よろしくお願ひ致します。

子ども・子育て支援新制度が、スタートして3年目を迎える平成29年度中に、平成30年度の「公定価格の更新に当たっての基本的な考え方」を現行の個別費目の積み上げ方式とするのか、それとも介護保険等で採用されている包括的な報酬体系を導入するかが検討されます。

個別費目の積み上げ方式は、人件費、事業費、管理費等について、各々対象となる費目を積み上げて費用を算定するもので、給付費の中に積み上げる対象費目(国の算定基準)が明確になることから、他の補助事業との組み合わせが実施しやすく、特に人件費については、経験年数に応じた対応や、配置基準の改善等の政策的な上乗せが実施しやすくなります。事業費や管理費等についても、毎年度見直しを行えば物価変動等の結果を反映させることができ

ます。それに対し、包括的な報酬体系は、サービスに要する平均的な費用を実態調査により把握し、人件費、事業費、管理費等を包括的に評価し算定するもので、実際に要した費用(実態)を設定しやすくとされていますが、実態調査が行われても、「平均的な費用」の判断は、国の裁量に委ねられるため、政策的、恣意的な価格操作や引き下げが行われやすい方式です。

また、包括的な報酬体系は、「国の算定基準」が明確でないため、人件費の圧縮が生じやすい方式です。保育士の人材確保が難しい状況の下で、「国の算定基準」が明確でないため、他の補助金との組み合わせや、人件費等の政策的対応が見えに

くい包括的な報酬体系を導入すれば、保育士の処遇改善施策を進めることが困難になり、さらに深刻な人材難を招くこととなります。そうなれば、保育の質が低下します。

さらに、子ども・子育て支援法第2条2項は、子ども・子育て支援給付は「全ての子どもが健やかに成長するように支援するものであって、良質かつ適切なものでなければならぬ」と規定しており、保育士の労働条件の悪化や保育の質の低下を招く恐れのある包括的な報酬体系を採用することは、同法の趣旨に反することになります。

児童福祉法第24条1項に基づく保育を堅持するためには、現行の個別費目の積み上げ方式を維持、発展させていかねばなりません。



副理事長のつとめ

城浜保育園 園長
増本 律秀



この度、副理事長を拝命いたしました。その責任の重さに身の引き締まる思いですが、篠原理事長を支えながら、福岡市保育協会のために全身全霊を捧げる所存です。

さて、平成27年度より子ども子育て支援新制度が施行され、その運営、仕組みが大きく変わりました。本来ならば、保育園にとっても保護者にとってもよりよい制度改革であるべきですが、入所手続きにおける様々な問題等、課題は山積みです。また、社会福祉法人の制度改革により新たに施行された改正社会福祉法では、法人運営が益々複雑さを増し、肝心の施設運営にも影響を及ぼすことが懸念されます。

このような中、保育所保育指針が改定され、平成29年度を周知期間として、来年度平成30年度より施行されます。主な改正ポイントは、
・乳児(0歳児)・1歳以上3歳未満児の保育の充実
・保育所保育における幼児教育の積極的位置づけ
・子どもの育ちをめぐる環境の変化を踏まえた「健康及び安全」の見直し
・保護者・家庭・及び地域と連携した子育て支援の必要性

・職員の資質・専門性の向上
本来、保育園の根幹となるのは、子どもの最善の利益を追求することです。良い保育環境を整え、子どもを中心に据えた保育を常に念頭に置きながら、市当局とも前向きな協議を重ね、保育現場、行政、そして保護者としっかりとスクラムを組んで、明日を担う子どもたちに光を当てて行きたいと思っています。

静ヶ丘保育園 園長
西村 洋子



薫風の季節となりましたが、各園の皆様方には、社会福祉法人制度改革による新たな運営業務が加わり、いつも多忙な日々をお送りのことと存じます。

さて私ことこの度、福岡市保育協会の副理事長を拝命致しました。その責任の重さを考えますと身が引き締まる思いでございます。

保育園は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期にその生活時間の大半を過ごす場所です。福岡市の保育園は、福岡市保育協会の研修等で、子ども達にとってより良い保育を模索して参りました。保育士等との信頼関係の元、子ども達が安心して過ごし、一人一人が主体的に活動しながら自分への自信を持つ体験を積み重ね、より良く他者と関わる豊かな心を育むことが保育の目標の一つですが、今子どもを取り巻く社会は、人と関わる難しいこととなつてきています。保育園の社会的役割が期待されています。福岡市と福岡市保育協会が力を合わせ、福岡市の保育が益々充実して行きますよう尽力致したいと思いますので、会員の皆様のご協力何とぞよろしくお願い致します。

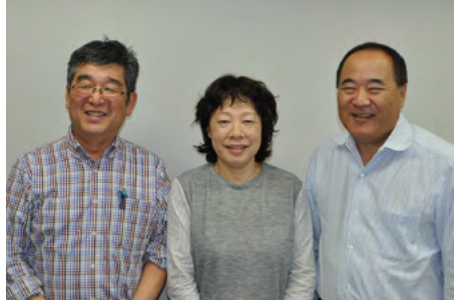


福岡市保育協会理事會組織とメンバー



研修部

部長 角 たか子 佐野 正人 川崎 麻里 安福 千枝子



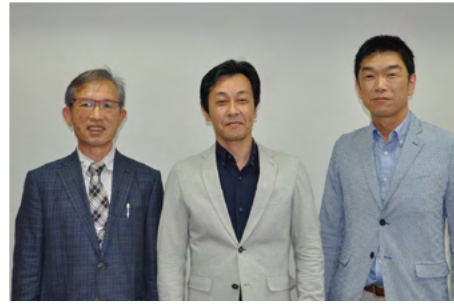
総務部

部長 西尾 達 城戸 裕子 永野 繁一



広報調査部

部長 長谷川 明美 井上 正志 高山 英樹 浦谷 富士子



予算運営管理部

部長 井上 國康 江崎 克己 阿部 克伸



福岡市私立保育士会
会長挨拶
荒川 英子

このたび、保育士会の会長に就任しました光和保育園の荒川と申します。
歴代の会長の後を引き継いでいく責任の重さを感じながら、深呼吸をして頑張っていきたいと思っております。
今、保育士不足などが問題になり、国は処遇改善に取り組んでくれています。
その期待に応える為にも、就学前の大切な時期の子ども達をお預かりする保育士としての力をつけなければなりません。その為、キャリアパスの方向性に目を向け、研修会など、保育士会として前向きに取り組んでいくことを会員の皆様や園長先生方の協力を得ながら、進めていきたいと思っております。
未熟な会長ですが、やる気をもってやっていきます。宜しくお願いします。



協会事務局

局長 畠中 佐知子 藤本 正典 石井 克子
宮原 悦子 財前 美智子



古賀 成磨

監事



楠 峰光

福岡市私立保育士会役員名簿(平成29年度)

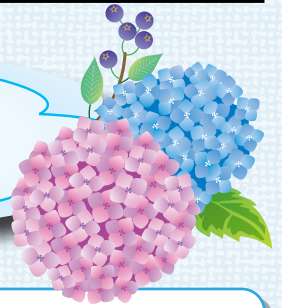
会長	荒川 英子	(光和保育園)
副会長(総務部)	小幡 悦子	(星の原団地保育園)
副会長(研修部)	竹内 美穂	(慈光保育園)
副会長(広報・研究部)	伊藤 修平	(名島保育園)
会計(総務部)	大塚 美津子	(みどり保育園)
会計(研修部)	大坪 由美	(香椎浜保育園)
会計(広報・研究部)	高倉 敦子	(花畑ナーサリー)
補助金会計(補助金)	阿部 珠美	(多々良保育園)
補助金会計(補助金)	三角 美津子	(めぐみ保育園)
企画(総務部)	真崎 玲子	(長尾保育園)
企画(総務部)	濱 芳恵	(世丘コスモス保育園)
広報(広報・研究部)	谷口 美香	(隅田保育園)
書記(総務部)	寒川 美穂	(ちどり保育園)
書記(研修部)	古賀 美由紀	(飯盛保育園)
庶務リーダー(総務部)	藤本 千佳子	(新星保育園)

庶務(副)(研修部)	澤田 明子	(光の園保育園)
庶務(研修部)	笹山 恵美	(大井保育園)
庶務(研修部)	村谷 真紀	(こぼと保育園)
庶務(総務部)	武田 恵美	(長住保育園)
主任保育士研究会委員長	樋口 るみ子	(南福岡保育園)
給食検討委員会リーダー	井手上 未往	(ひかり保育園)
監事	江口 裕子	(エミール保育園)
監事	安藤 ゆり	(筑紫ヶ丘保育園)



小幡悦子副会長 伊藤修平副会長 竹内美穂副会長

新卒採用職員紹介



中央区



平尾保育園 砂田 莉子

福岡市内での就職を考えてはいたものの、どの園が良いのか、どの園が自分に合っているのか分からず迷っていました。そのようなときに、平尾保育園の求人を見つけ園の雰囲気を知りたいと思い自主実習に行ってみて、園の明るく温かい雰囲気と先生方の丁寧な保育に魅力を感じ、是非この園で働きたいと思いました。

保育士となり自分の至らなさを感じることも多々ありますが、先生方が丁寧に指導していただき、日々多くのことを学ばせて頂いています。また、子ども達から学ぶことも多く、子どもの成長を側で見ることでできる保育士の仕事は素晴らしいと改めて感じます。これからも笑顔を大切に、子どもに寄り添いながら共に成長していけるような保育士になれるよう努めていきたいです。

博多区



隅田保育園 水城 晴香

県外出身の私は福岡で就職すると決意したものの、たくさんある保育園の中から自分が働きたいと思える園探しに悪戦苦闘していました。そんな時参加した就職フェアで実際に先生方と話をしたり、写真を見たりする中で、ここで働きたいと思える隅田保育園に出会い、就職することができました。

保育士になり半月、毎日が学び、発見、反省、実践と時間があっという間に流れています。先輩方にご迷惑をかけることも多いですが、子どもや保護者にとっては、私も保育士の1人でありますので、保育のプロとしての責任を感じます。大変な事もありますが、子ども達の笑顔や成長を見るのが私の活力となっています。この先生と出会って良かったと思ってもらえるよう、子どもに負けない元気と明るさで頑張っていきたいです。

東区



光和保育園 前田 朱里

保育士を目指そうと思ったのは、私が年長だった頃の担任の先生の影響があったからです。子どもの頃から大好きな先生でしたが、中学校の職場体験で母園を訪れ、誰からも好かれ、楽しく子ども達と接する先生の姿を見て、改めてこの仕事に就きたいと強く感じ、そこから保育の道に進みたいと思うようになりました。

4月から保育士となり、今0歳児を担当していますが、月齢の差が大きく、個人に合わせた保育が必要となり、責任も重く、大変だと思うことが多くあります。しかし、日々の成長をそばで見守ることができ、やりがいを感じています。これから私も、子ども達と一緒に成長していきたいです。

南区



のため保育園 財部 佳奈

私は小さい頃から保育士になるのが夢でした。長年の夢であった保育士という職業に就いた今、漠然と思いついていたものとは違う部分もあり、大変なことも多くあります。しかし、やはり私は子どもが好きで、子どもと関わっている時が何よりも楽しくて、とてもやりがいを感じています。

幼い頃からの夢を叶え、のため保育園と出会えたことを誇りに思い、これからも子どもに寄り添い、笑顔いっぱいの保育士になりたいです。

対馬出身で一人暮らしをしています。先輩保育士が福岡の地理や美味しい料理屋さんなどを教えてくれるので、プライベートも充実させていきたいと思っています。

城南区

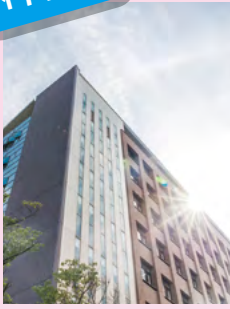


白百合保育園 谷口 永里香

私は「小さい子供が好き」という理由で小学生のころ保育士になろうと決めました。4月から夢だった保育士となりましたが、子ども達は本当によく泣くし私からはご飯も食べてくれないし、ただ、「好き」というだけでは務まらない責任の重い仕事で、やっていけるか不安になるほど大変だと改めて実感する毎日です。同時に子ども達には日々変化があり、私の顔を見て笑顔が出るようになったり、後追いをしてくれるようになったりと本当に可愛くて、この子どもたちの成長を傍で見守っていける本当に素敵な職業だと感じています。まだまだ分からないことが沢山ありますが、先輩方にご指導して頂きながら、この職業に就いてよかったといつまでも思えるように頑張っていきたいと思っています。

養成校から応援メッセージ

中村学園大



中村学園大学就職課課長 緒方 圭子

4月から保育士となった皆さん、少しは生活に慣れましたか。失敗したらどうしよう、先輩の先生方に迷惑をかけないか等の不安が膨らんでいませんか。焦ると失敗に繋がることも多いです。失敗を恐れず気持ちに余裕を持つよう心掛けるといいですよ。新しい環境の中で戸惑いも多いと思います。心身共に自己管理が大切なことも実感していることでしょうか。社会人として自立することも必要ですし、保育士というプロになった自覚と責任を持って子ども達のために末長く活躍してくれることを心からお祈りしています。そして、周囲の方々に「自分の園がいちばん」と自慢できるくらい園と子ども達を大好きになってくださいね。心から応援しています。

心の未熟さや経験不足、社会常識に欠ける新任者もいるかと思います。園長先生、諸先生方には是非、温かく見守っていただけましたら幸いです。養成校としても教職協働で立派な保育士養成を目指して参りますので、今後共よろしくお願ひ申し上げます。

香蘭女子



香蘭女子短期大学保育学科長 河野 博行

保育園で仕事をはじめ2ヶ月経ちました。一生懸命奮闘する皆さんの姿を頼もしく感じています。しかし新米先生は右も左もわからないことばかりで、自分では出来ると思っていたことが上手くいかない現実の大きな壁が目の前に立ちはだかり、皆さんを苦しめているかもしれません。誰でも1年目は、いろいろなプレッシャーや、自分の未熟さから挫折しそうになることもたくさんありますが、そのような苦しさの日々を乗り越えながら皆さんは一人前の先生に育っていくのだと思います。挫けずに頑張っている皆さんを応援しています。

保育の現場はとてもハードで大変ですが、将来を担う子どもたちを保育する職業として、やりがいのあるとても素晴らしい仕事です。今はまだ修行期間で苦しく辛いことが多いかもしれませんが、将来の自分が保育士として活躍している姿をイメージしながら頑張ってください。

最後になりましたが、就職先の各園の園長先生をはじめ各先生方には色々ご迷惑をお掛けしていると思いますが、長い目で御指導をいただき一人前の保育者として育てていただいていることに感謝申し上げます。

早良区



西新保育園 高橋 美帆

この春より、学生時代から目指し続けていた保育士としての生活が始まりました。

そして、そのスタートを歴史ある西新保育園で迎えられたことを大変うれしく思っております。

私はこれまでの学校生活や習い事を通して、先生の立場へ憧れを抱いており、大好きな子どもの成長を傍で見守りたい、携わりたいとの思いから保育士を目指しました。

研修期間を終え、担任としての自覚と責任を感じ始めた今、毎日新しいことに遭遇し、先輩の先生方が熱い思いで保育をなさる姿に身の引き締まる思いが致します。

不安や戸惑いばかりではありませんが、積極的な姿勢と明るい笑顔を忘れず、日々たくさんのごことを吸収できる環境に感謝し、成長していきたいと思っております。

西区



和光保育園 岡本 優花

3月に大学を卒業し、この4月から和光保育園の1、2歳児クラスの担任となりました。中学生の頃からの夢であった保育士という職に就くことができ、明るくて、元気いっぱいな和光保育園の子ども達との毎日に幸せを感じています。

ワクワク楽しく過ごしながら、メリハリのある保育に努め、基本的な生活習慣が身につくように繰り返しの援助を大切にしていきたいと思っています。その中で、園の目指す「人に迷惑をかけない人」、「人に親切にできる人」、「自分からする人」に向け、人生を力強く生きていくための基本姿勢と礼儀の土台づくりに取り組んでいきたいです。

子どものこれからの人生がより豊かなものになるよう愛情に満ちた保育を行い、元気な挨拶や笑顔を忘れずに、毎日楽しく頑張ります！

栄養士



わかひさ保育園 栄養士 浦岡 桃子

私が栄養士になりたいと思っきっかけは母の存在でした。

料理上手な母をずっと見てきた私は、いつの日か自分が作る料理で人を健康にしたい、喜んでもらいたいと思うようになりました。

子どもが大好きだということもあり、栄養士として保育園で働くことができた今、子どもと関わりながら給食をつくることができ、日々楽しく過ごしています。

1年目で分からないことも沢山ありますが、先輩方からしっかり学び、食べることの大切さや楽しさ、感謝を伝えていき、子どもたちとともに成長していきたいと思っております。

新旧青年部部長インタビュー



今期、青年部の役員改選に伴い、青年部部長が交代したとのことですが、青年部を代表して前部長の高田史敬先生(田島保育園)と新部長の高木禎新先生(和光保育園)に青年部の内情や青年部に対する思いなど、ざっくばらんに話していただきました。

・福岡市保育協会青年部とは？

【高田】 青年部部長は園長・副園長・主任保育士など、今現在または将来それぞれの園で運営の中心となる先生達の集まりです。私自身もそうですが、他の職業の友人に保育のことを話してもなかなか理解してもらえないのは難しいです。その点、部員同士では園運営の悩みや保育の喜び、将来のビジョンなど腹を割って話すことができます。ここ最近では先輩方からは国や市の動向を、後輩達からはICTや保育士確保の情報などを沢山教えてもらいました。この損得無しに話し合える集まりが「The 青年部」です。

・現在の青年部の組織構成は？

【高木】 今期より新入部員3名を加えて、現在38名の部員で活動を行っています。そのうち、部長1名、副部長3名、書記2名、会計2名、運営委員7名の計15名が役員として動いています。その他、保育協会の総務部長の先生に青年部顧問の役も担っていただき、保育協会との連携や様々なアドバイスをいただいています。違った角度から青年部を見守ってくださっているという意味では、非常に有り難い存在ですね。また、監事が2名おり、会計監査をいただいています。監事は青年部OBの先生方を中心にお願ひしています。

・青年部にはどうしたら入れるんですか？

【高木】 青年部の規約に、「協会の会員及び園長、並びに理事長、園長が推薦する保育関係者で満20歳以上、45歳未満の者を満たしていればどなたでも入会することは可能です。ですので、今は、俗に二世、三世と言われるような跡取りのみの集団というわけではありません。多いのは事実ですが(笑)。

・部長はどうやって決まるんですか？

【高木】 役員は一期2年なんですけど、その改選期の時に役員による選挙で決まります。ただ、これまでを振り返ってみても立候補というのはありませんでしたので、完全に他薦ではある形になってますね。「選ばれたら有無を言わず部長を引き受けなければならぬ！」というものが青年部の掟のようなんです。高田先生も私もその掟に従わざるを得なかったということです(笑)。

・どんな活動をしているんですか？

【高木】 基本的には、年6回実施している独自の研修会を中心に活動しています。また、保育協会の事業へのお手伝い(えがお展、保育研究大会等)、私立保育園連盟青年会議や日本保育協会青年部が開催する研修大会への参加等、外部との交流も積極的に行っています。その中で、今、一番力を入れているのが、2年前より始まった就職フェアですね。これは高田先生の部長時代に青年部が発案し、企画及び実施にいたるまで中心となって進めさせていただいている事業です。思い入れも強いものがあります。

【高田】 「青年部でしかできないことをやる」が根底にありますね。保育協会のよるに大きな団体になると、1つのこととできませんが、40名前後の青年部だと、大雑把に言うところ「これをやりたい」と「やってみようぜ」と「じゃ、私動きましょ」と「まあかた」のような感じで活動内容を決めていきます。それぞれの部員が今現在何を学ばべきか、何をすべきかを常に考

えて行動するので、私自身とても勉強になりました。

・青年部に入ったきっかけは？

【高田】 私が自園に戻った年がちょうど青年部創立10周年があるということで誘いをいただき、それから約20年青年部にお世話になりました。入部当時のさくら保育園の永野部長には色んなことを教えてもらい、その後古賀一朗先生、高山英樹先生、上里利香先生、増本律秀先生の歴代部長の元で楽しく過ごさせていただきました。とても感謝しています。

【高木】 私の場合は、父親が青年部OBということもあり、父親の勧めで入りまして。大学卒業してすぐに園に就職したので、世間を知るといって意味でも外で学んでこいという父親の思いがあったのかもしれないですね。結果的には、入った本当によかったと思っています。高田先生同様、青年部の先輩方には大変お世話になりました。運営に関することを含め、保育に対する熱い思いやリーダーとしての在り方、お酒の飲み方(笑)など、いろんなことを教えていただきました。今は、同じ立場で頑張っている仲間から受ける刺激は自分にとって非常に大きいですね。困ったり悩んだりした時はどんなことでも聞くことができるといことも有り難いです。

・部長として大事にしてきたことは何ですか？

【高田】 飲み会ではなく、みんなが気軽に来られる雰囲気大切にしましたね。なるべく幽霊部員にならないように思っていました。後は活動のところで述べましたが、各役員が提案してくれた「これをやりたい」を実現することも大事にして来ました。提案して実行していくことって楽しいですから、それが大きな形となったのが昨年11月に開催した「九州保育三団体青年部研修会」です。各役員自園の仕事が忙しい中、基調講演や各分科会を企画・立案・実行していただきました。内容も青年部でしかできないだろう！というものもあり、青年部部員のポテンシャルの高さを実感できた大会でした。この実行力が青年部の魅力であり、保育協会を支えていく力になっていると思っています。

・今後の青年部に期待することは？

【高田】 今以上の実行力を期待します！今やべきこと、それから10年後20年後を見据えてやっておくことを考えて行動できるのが青年部です。「さすが青年部」。この言葉をたくさん聞きたいです。

・今後の抱負は？

【高木】 高田先生が言った「青年部でしかできないことをやる」という思いを引き継いでいきたいなと思っていますね。具体的には、今期も就職フェアを中心に回っていくと思います。過去2回の反省点を修正するだけでなく、どんどん新しいことを取り入れていきたいと思っています。まさに今期の青年部のテーマ「斬新！前進！発信！」のように、あとは有能な人材や面白い人材が青年部にはいっぱいいるので、みんなの発想や行動力を潰さないようにいろんなことに挑戦していけたらいいですね。私自身が先頭に立つてガンガン引張っていくというタイプではありませんので、みんなが能力を発揮できるような環境作りに入力していくつもりです。

瑞宝単光章を受章して



園保育士 江口裕子 元主任

で行われ、たくさんの方の正装の受章者が、緊張してお待ちしました。「長きにわたり、ご苦労様でした」と柔らかい声でゆっくりはなされ、ひとまわりされながらもねぎらいのお言葉を何度もかけていただきました。

皇居での叙勲式が行われた五月十一日は、久しぶりの晴れ渡った青空で、青葉若葉が美しい日でした。朝早くからホテルで着物の着付けを頼み、配偶者のモーニングをチェックし、厚労省に集合し、他の受章者の皆様とともにバスに乗り、皇居へと向かいました。皇居の印象は、外苑も内苑も広びろとした端整で無駄な装飾もないのに崇高なただずまいで、日本のお城にふさわしい美しさと感動しました。天皇陛下のお言葉は、「春秋の間」



昨年の就職フェア

NEW!! 新園紹介

クレシユ六本松

園長 松藤 孝子

定員 90名

地下鉄七隈線・六本松駅から徒歩近い、福岡市中央区草香江に、「クレシユ六本松」が誕生しました。クレシユとは、フランス語で保育園という意味で、フランス人の建築家によってデザインされました。子どもたちが将来大きく羽ばたくように、グローバルな視点で保育を考え、一人一人の気持ちに寄り合い、発達段階を見極めながら、ていねいで愛情溢れた保育を行うことを目標にしています。子ども達の身の回りの発見や気づきを大切に、主体的な活動を通じて、疑問や問題に取り組み、生きる力を育みます。大濠公園や、福岡市動植物園に近いことから、園外保育の活動も行い、四季折々の自然を体験しながら、新しい都市型保育園としての理想を追求します。



中比恵ソレイユガーデン保育園

園長 春田 雅孝

定員 90名

この度、国家戦略特区を活用し、博多駅から徒歩7分の公園内に当園を開設することが出来ました。都心では広い園庭を確保することが難しい中、1万2千9百平米という広い緑豊かな公園を園庭として使用でき、大変嬉しく感じています。これから子どもたちと一緒に季節の花を植えたり、ハーブを摘んだりして、地域の方々と一緒にハーブティーを楽しみたいと思います。これからも子ども達の心に目をかけ、手をかけ、心をかけ、目に見えない心の育ちを大切にしていきたいと思います。また、450m離れた姉妹園の恵愛ソレイユ保育園と合同で様々なイベントを行いながら、子どもたちも職員も共に育ちあえたら嬉しいですね。保護者会も2園合同で行い、役員はお父さんだけ。人数も28名と年々増えています。わが子の成長だけでなく、周りの子の成長も、みんなで喜び分かち合える愛情に満ちた保育園です。



サンタランド保育園

園長 杉内 博

定員 110名

4月1日より中央区地行3丁目にて開園させていただきました社会福祉法人博愛会サンタランド保育園です。当園は、「一人ひとりを温かく包み、明るく元気で夢のある子ども」を理念に掲げ、子どもたちと向き合いながら家庭的な雰囲気の中子どもたちの成長を見守っているところです。私たちは長崎県諫早市に本部を置き、これまで約40年に亘って保育園を運営してまいりました。そこで培った園風を大切にしながら、ここサンタランド保育園でも浸透させていきたいと考えております。地域の中の保育園として、子どもたち同様サンタランド保育園も一歩一歩成長していければと思っております。開園してまだ間もないところですが、たくさんのお会いにうれしく感じているところです。何分、福岡市での運営は初めてで、不安もありますが、皆様方に教えてもらい1日でも早く慣れていきたいと考えておりますので、これからどうぞよろしくお願いたします。



姪浜もみじの森保育園

園長 伊藤 満子

定員 110名

この度、福岡市保育協会に入会させて頂き、理事長を始め各位の先生方には大変お世話になります。宜しくお願ひ申し上げます。開園並びに入園式を4月1日に行いました。現在110名定員に対して70名が通園しています。安全、安心してお子様をお預かりする為に26名の全スタッフで研修を重ねる保育と教育の質の向上に研鑽努力致しております。園は姪浜駅から徒歩10分、都市高速に面して姪浜インターの程近くにあり、園舎は緑色をポイントに3階建てです。1階は職員室・給食室、2、3階は保育室、2階は2、3、4、5歳児保育室、3階は子育て支援室(多目的教室)になっています。園庭には青々茂った芝の築山があり、2、3階から降りる非常階段を降りました。先日も避難訓練で子ども達がこの階段を降りました。季節や食育を言十画して連休の後、ミニトマトや安納芋の苗や朝顔の種を植えました。毎朝、子ども達が「水やりするよー」と、はりきって世話をしています。殆どの子どもが新しい環境に慣れてきました。これからも一人ひとりの子どもに小さな大人として接し、尊重した愛のある豊かな人間を育む教育を行い、保護者と子育てを協働しながら、共通理解を深め家庭保育を補完して養護して参りたいと思っております。



リレー回想

今こそ保育現場で「観」の確立を目指して

多々良保育園 園長 大神 敬一



私は朝七時に保育園に出勤しています。出勤後まもなく、三々五々幼な子の登園が始まります。

「園長先生！おはようございます。」の元気いっばいの挨拶が飛び交い、さわやかな一日が始まったなと実感がわき上がります。

挨拶を済ませると、各自保護者の手を引いて亀の飼育水槽をのぞきこみ「カメさんおはよう」と声かけをして、保護者にハイタッチして、「バイバイ、行ってらっしゃい、お仕事頑張ってるね。」との言葉を交わしてお部屋に入ります。

この微笑ましい場面を見るに付け、私の胸中は「今日も元気に登園してくれて有り難う。元気いっばいにお友達と楽しく過ごしてね。」との祈りの気持ちがかみ上げて来ます。私の祈りの気持ちは、きつと後ろ髪を引かれる思いで我が子を保育園に託して職場に向かわれる保護者の気持ちにも通ずるものだと考えます。

私は「保育園は楽しい、毎日楽しい。」との気持ちを幼な子全員が持つてくれるような心づくしの保育が大切だと考えます。そのためには、「保育とは？保育園とは？」の原点に立

ち戻らなければならないと思います。つまり、(保育観 保育園観)の確立です。「観」とは「物の見方や考え方」です。保育関係者は常に、「幼な子は、かけがえない存在で有り、保育園の主人公である」との子ども観に立って日々の保育実践にあたっています。

保育とは「幼な子の健やかな成長への祈りであり、生きる力の基盤作りへの教化」だと思えます。この保育観を前提にして、保育園の在り方の根底となる保育理念、保育目標を掲げて、その具現化に努力するのが園長の責務です。

保育関係者が念頭に置くべきことは、「保育園とは？」にどのように応答すればいいかについて述べてみます。私は、保育園は①幼な子がほっとくつろぎ、心が安らぐ場所②幼な子が多くの友と出会う場所③幼な子を温かく見守る先生がいる場所④幼な子が発達段階に応じて知識や知恵・技能を身につける場所⑤幼な子が自己実現を図る場所だと考えます。

幼な子は保育園での集団生活を通して喜びや悲しみを感じ取り、思いやりの心を実感し、成就感や達成感、満足感を幼な子なりに体感しながら、感性豊かに育っていくと考えるものです。

保育の質を高めることが保育関係者の喫緊の課題だと考えた時に保育

の質のとらえ方もいろいろあるとは思いますが「保育の質は、子どもの育ち具合である」と限定的に捉えるのと日々の保育の在り方、つまり、保育内容が保育の質に関連すると考えます。

保育の質の向上には、保育園の先生の果たす役割は極めて大きいと思えます。保育士さんは国家資格を有する専門職であります。専門職としての資質を高めるには、日々研鑽を積んで保育に専念することが求められます。意識改革も必要です。資質

向上の視点としては①自分なりの保育観・児童観・保育士観・人生観等を確立する。②子ども理解のノウ、ハウを身につける③養護／教育指導の力量を高める。④読書にも専念して広い教養を身につける。等々です。

保育士の皆さんには、保育現場では、常に幼な子の目線に立って、幼な子の目の輝きを追い求め、だきしめる保育の実践に頑張ってくださいと思います。

保護者間では「評判の高い保育園」に関してスマホ等で情報交換がなされているようですが、「評判の高い」「よい」保育園とはどんな保育園でしょうか？」私の考えでは①園便り等の発信力に秀でている。②落ち着いた安心感の漂う雰囲気がある。③園長、主任保育士への信頼が厚い。④常に欠席

児童への安否を確認、連絡をする。⑤連絡帳等へのコメントが丁寧で、具体的に充実している。

最後に、「保育は教化なり」について述べてみます。保育所保育指針等には「保育は現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を身につけさせる。」と定義されています。教化を目指す保育は「養護と教育が一体となった幼な子の人間としての望ましい成長を目指す営みである」と考えます。

多々良保育園は今ほ亡き母が昭和四十八年に立ち上げて四十三年が経過しました。母の園長職を引き継いだものの園長として自分の力量の乏しさを痛感する時に思い悩みます。それを超越しながら今日の最善を信じ、より良き明日の到来を期待して努力精進します。今後ともよろしくお願ひします。



編集後記

今回より新しい機関紙編集委員会が発行することとなりました。「保育くおか」は年3回の発行を踏まえると38年もの歴史ある機関紙であり、今まで編集、発行に携わってきた園長先生、諸先輩方の努力と、熱意を思うと尊敬の念を禁じ得ません。

「保育くおか」は理事長、園長先生をはじめ保育園に勤める職員皆さんの機関紙です。保育協会、青年部、保育士会の活動、園の取り組みや思いを紹介し、皆さんの声を聞き紙面を作っていくしたいと思いますので、皆さんのご協力が必要です。魅力ある、興味を引かれる機関紙になるよう、編集委員一同力を合わせて取り組んでいきますので、みなさんの感想や意見をぜひ保育協会または編集委員へお寄せください。お待ちしております。最後になりましたが、年度初めのお忙しい中、原稿をお寄せいただきました皆様方に感謝申し上げます。

保育協会 メールアドレス
koukai@hokku.or.jp

